

## フィリピン チャレンジ プロジェクト

### 団体概要・事業説明



フィリピン チャレンジ プロジェクトは、ぼてぢゅう国際交流基金のサポート及び日本アジア振興財団の運営によって成り立っています。

## 1. フィリピン スタディツアー

**発着：**関西国際空港・成田国際空港・福岡空港

**航空会社：**フィリピン航空

**期間：**8月29日（土）～9月4日（金） 7日間

**費用：**148,000円

**費用に含まれるもの：**

航空券・現地移動交通費・食事代・宿泊費・研修費用・現地添乗員費用

**費用に含まれないもの：**

空港使用税・燃料サーチャージ料・航空保険料・海外旅行保険料等（諸税：18,260円）

※燃料チャージ料等諸税は4/1の金額を参考としています。

**研修分野：**教育・国際機関・国際ビジネス・社会・英語

企画	(一財) 日本アジア振興財団 フィリピンチャレンジプロジェクト
実施	有限会社 サウスバウンド 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-12 佐野ビル 4F TEL：03-3539-6951/ FAX：03-3539-6952 東京都知事登録旅行業 第3-4379号
後援	フィリピン共和国政府観光省
参加条件	29歳以下で専門学校・大学・大学院に所属している者 もしくは研究員生とする
最小決行人員	15名以上とする

(注意) 類似団体にご注意下さい。

大使館・領事館・観光省等の公的機関が後援を行っているスタディツアーは当財団法人のみです。

## 団体概要

### (1) プロジェクト理念

日本とフィリピンの交流を通じ、国際開発や国際交流に関心の高い、次世代の担い手の育成を推進します。

### (2) 行動指針

国際社会で通用するキャリアデザインを助長し、両国における国際協力・交流を推進します。教育・国際機関・国際ビジネス・社会分野を主とした国際開発について専門的に研究します。活動を通して直面する両国の問題に取り組みます。

### (3) 目的

教育・国際機関・国際ビジネス・社会を中心とした「人と人」の交流・研修を行う事を目的とし、現地の国際機関、ホテル・レストランなどのサービス業界やエンターテイメント業界を中心とした国際ビジネスの第一線でインターンシップ・研修を行います。さらに、孤児院の訪問や現地のNPOの活動の参加する事により、フィリピンの教育と社会についての知識を深めます。現地で英語研修や学生交流をし、次世代の国際人としての育成を行い、必要に応じて投資・貿易などを通じて両国の発展に寄与することを目的とします。また、国際的な企業、国際機関、国際的なNPOに興味があり、そういった所で働こうと思っている学生のためのキャリアデザインを目標にします。

### (4) 沿革

[2014年5月] 日本アジア振興財団・栗田英人理事とフィリピン政府観光省のアラチェリ・C・ソリアーノ西日本代表の間で、「フィリピン共和国と日本の学生の交流を行う」という目的のもと「ぼてぢゅう国際交流基金」が発足。

[6月] フィリピン チャレンジ プロジェクトが発足し、委員長に青木 豊彦氏が就任します。

[2月] 第一期のスタディツアーが無事に修了。

(5) 役員

委員長:青木 豊彦((株)アオキ会長/大阪市立大学客員教授/和歌山大学客員教授)

副委員長:栗田 英人(ぼてぢゅうグループ・(株)東京フード代表取締役)

副委員長:松岡 広隆 (前衆議院議員/芦屋大学客員教授)

学生委員長:横山 灯可里(学生担当)(神戸市外国語大学中国学科)

監事:青木 伸文 (公認会計士・税理士)

監事:平野 耕平(弁理士・行政書士)

事務局:レーママン・ダニエラ(日本アジア振興財団 国際室)

運営:(一財)日本アジア振興財団

後援:フィリピン共和国政府観光省

協賛:ぼてぢゅうグループ(東京フード・大阪フード)

(6) 団体連絡先 ( (一財) 日本アジア振興財団事務所内)

住所 〒530-0044 大阪市北区東天満 1-11-13 AXIS 南森町 10F

TEL 06-6351-6855 / FAX06-6809-1767 URL <http://www.japf.or.jp>

学生担当連絡先: [pcpj@japf.net](mailto:pcpj@japf.net)



[ベニグノ・アキノ大統領と面談]



[在フィリピン日本大使館にて]



[現地TV局にて]

## 「スタディツアー・研修事業」について

～概要～

現在アジアで急成長を遂げており、世界第3の英語公用国として知られるフィリピンで、日本の学生を中心としたスタディツアー・研修を行います。スタディツアーでは国際機関や国際的な企業・NPOで働いている人との交流、ホテル・エンターテイメント会社などのビジネス業の分野、教育分野、社会分野、及び語学（英語）分野の研修を行います。

～研修分野と研修内容に一部例～

教育	●現地大学生との交流 ●孤児院訪問
国際機関	●観光省訪問 ●JETRO訪問 ●JICA訪問
国際ビジネス	●ホテル研修 ●VIVA Communications Inc.訪問
社会	●NPO活動に参加 ●ごみ山視察
英語研修	●英会話のレッスン



〈ごみ山視察〉

〈孤児院訪問〉

〈現地子供たちとの交流〉

〈現地学生との交流〉

### <教育分野>



経済的な理由や、親を亡くしてしまった理由などで、生活が困難な子供たち(5~17歳)を受け入れているマニラの孤児院を視察し、子供たちと交流を深めます。また、マニラ市内の大学を訪問し、現地学生との交流を行います。

訪問予定先：孤児院・マニラ大学等

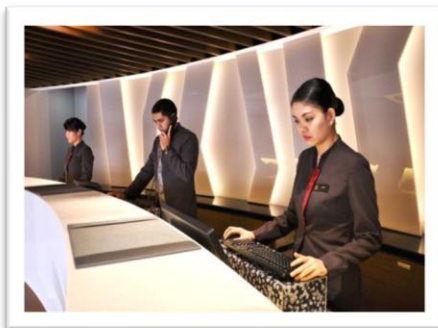
### <国際機関分野>

とても重要な役割を担っていますが、あまり多くの人に知られていない国際機関を訪問します。特に、国際交流に興味のある方や語学力を活かしたい方にとってはとても記重で、かつなかなか行けない国際機関に訪問して頂き、その職員の話を伺うことができます。

訪問先：観光省、JICA、JETRO 等



### <国際ビジネス分野>



日本人からも人気の高いホテルでの宿泊者の管理やイベントの運営をはじめとした様々な業務の体験や、レストランでは飲食業の研修を行います。また、フィリピンだけではなく、海外でも成功しているエンターテイメント会社を訪問し、そこで映画、音楽やタレント等の分野に関する国際ビジネスの研修をします。

訪問予定先：トレーダース・ホテル、ピバ コミュニケーション インク等

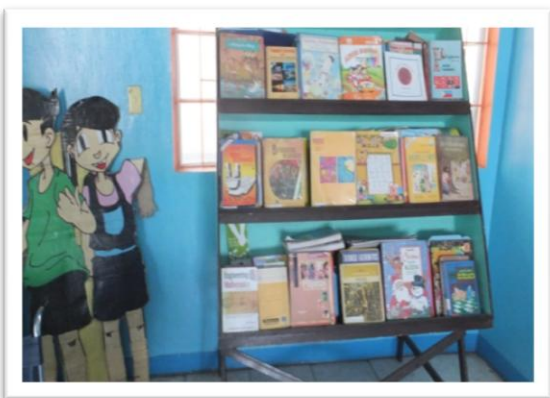
## <社会分野>

フィリピン各地で大きな問題となっているごみ山を視察します。20年という長い年月をかけてできあがったパヤタスのごみ山へ訪問します。そして、ごみ以外にも、フィリピンには社会問題が多く存在しているので、国際的なNPOがたくさん活動をしています。その中のNPOの活動の一つに参加し、NPOの活動を学ぶことができます。それらの活動に参加することによって、フィリピンの発展に貢献することができます。

視察予定先：マニラ市内パヤタスのごみ山、NPOアクション等



## <英語研修>



フィリピンは英語公用国としてアジアで最も知られているため、フィリピンでの英語留学がとても人気です。日本人が苦手な英会話を中心とした英語の研修を行います。少人数での仲間同士のレッスンで、気軽に勉強することができます。また、フィリピンは英語がどこでも通じるので、研修で学んだ英語をすぐに使うことができます。学んだことがすぐに実践することができます。研修です。



## 申込みの流れ

### STEP1 必要書類記入・提出

#### ■申込書記入

配布・送付させて頂いた資料に同封しているスタディツアー登録申込書に必要事項を記載し、JAPF事務所に返信用封筒にて郵送して下さい。また、インターネットにてお申込み下さい。

※申込期間は、2015年 7月15日（水）必着

### STEP2 申込み後の確認／旅行代金の振込み

■手配旅行会社宛に記載して頂く書類一式、海外旅行保険のご案内などの書類が届きます。

※万が一の事故に備え、必ず全員海外旅行傷害保険にご加入ください。海外旅行傷害保険には様々なプランがあり、提携している旅行会社からの加入用紙を送付いたします。加入申し込み後は、提携している旅行会社から保険申込金の請求をさせていただきます。

■2015年7月30日（木）までに旅行代金を手配旅行会社の指定口座にお振込みください。

### STEP3 パスポート申請・受取(必要な方のみ)

パスポートをお持ちでない方は至急申請してください。入国審査において、パスポートの有効期間が6か月以上残っていること及び30日以内にフィリピンを出国することが確認できる復路の航空券（又はフィリピンから他国に渡航するための航空券）を提示することが必要です。パスポートの申請は取得までに2週間ほどかかります。余裕を持った申請をおすすめ致します。

### STEP4 オリエンテーション(任意)及び最終確認

■オリエンテーションの際は、スタディツアー参加に対する不安点の解消を行います。例えば、現地の人たちとのコミュニケーションの取り方について学んでいただいたり、持ち物の確認も行います。また、参加者同士の交流なども行います。

■オリエンテーションの際に最終の研修スケジュール、出発の集合時間・場所、現地連絡先が記載された資料一式をご家族用の控えと一緒に配布致します。

■オリエンテーションに参加できない場合は、オリエンテーションの際に配布した資料一式を出発の一週間前迄に郵送します。（帰省先を指定する場合、帰省先へ郵送します）

### STEP5 ご出発

発着空港は、関西国際空港・成田国際空港です。

### STEP6 修了証交付

修了書の授与を行います。



## 日程表

期間：8月29日（土）～9月4日（金）7日間

日	発着地・滞在地	交通機関	日程
29（土）	成田 関西 福岡 フィリピン マニラ (ホテル泊)	フィリピン 空港  専用車	フィリピン航空にてニノイ・アキノ国際空港（マニラ）へ ・マニラ到着後：観光省にて懇親会・夕食 ・ホテル訪問型コミュニケーション英語を中心とした語学研修
30（日）	     (ホテル泊)	    専用車	(ビジネス・エンターテイメント分野) ホテルにて朝食 ・エンターテイメント分野企業訪問 (VIVA Entertainment) 昼食：フィリピンの家庭料理 ・市内観光 夕食：フィリピンの家庭料理 ・ホテル訪問型コミュニケーション英語を中心とした語学研修
31（月）	     (ホテル泊)	    専用車	(国際機関分野) ホテルにて朝食 ・JICA 見学訪問 昼食：世界の料理のバイキング ・観光庁見学訪問 ・政府関係者の方と交流 ・JETRO 訪問 夕食：フィリピンで人気のファーストフード ・ホテル訪問型コミュニケーション英語を中心とした語学研修
1（火）	     (ホテル泊)	    専用車	(ビジネス・サービス分野・教育分野) ホテルにて朝食 ・ホテル研修 昼食：研修先にて ・現地の大学もしくは日本語学校訪問 ・ホテル訪問型コミュニケーション英語を中心とした語学研修
2（水）	     (ホテル泊)	    専用車	(社会分野) ・ホテルにて朝食 ・NPO 団体訪問 ・孤児院訪問 昼食：子供たちと自炊 ・古着を持参してプレゼント ・ごみ山やスラムエリアの視察 ・ホテル訪問型コミュニケーション英語を中心とした語学研修
3（木）	     (ホテル泊)	    専用車	(終日自由行動) ・フィリピン巡り&観光
4（金）	ニノイ・アキノ国際空港から日本へ	フィリピン航空	午前に関西・成田・福岡の各空港に到着